



世界自然遺産の島 屋久島

No.43

平成30年
9月

屋久島町 議会だより



福祉施設紹介⑦ほほ笑み(栗生) (P19へ続く)

《主な内容》

- | | | | |
|---------------|------|---------------------|-------|
| ◇第2回定例会 | 2～3 | ◇行政視察 | 18 |
| ◇常任委員会 | 4～6 | ◇町議会からのお知らせ | 19～20 |
| ◇一般質問 | 8～17 | ◇シリーズ[福祉施設紹介] | 21 |

議会はこう審議しました

補正予算総額 4億7千622万9千円

一般会計 4億6千449万5千円増・国民健康保険事業特別会計 468万1千円増・介護保険事業特別会計 252万3千円増・農業集落排水事業特別会計 365万円増・船舶事業特別会計 88万円増

6月定例会

あらまし

6月8日から20日の会期で開催され、補正予算案5件、条例案4件、その他2件の11議案が上程され、すべて原案の通りに可決された。

【本会議】
6月8日・20日：議案審議
11日・12日・13日：一般質問

【常任委員会】
6月14日・15日

可決

新庁舎の

議場システム導入

5千53万2千円

新庁舎議会棟に導入するシステム。これまでのシステムは、音声データのみであるし、老朽化している。開かれた議会を大切にするには、ネット配信、映像配信を基本に考える。

可決

新庁舎の

職員用机等購入

2千689万2千円

職員用のオーダーメイドの机を180台（1千717万2千円）と可動式書庫（972万円）。この予算の見直しを求める修正案が提出された。（3頁に記載）

可決

水槽付消防ポンプ

自動車購入

4千492万8千円

6社指名競争入札。落札は鹿児島森田ポンプ株式会社。南分遣所に現在配備されているものは、走行距離1万2千3百km。平成12年購入。



ポンプ自動車

可決

ごみ処理施設の

修繕

2千376万円

クリーンサポートセンター（ごみ処理施設）で炭化するゴミの水分を飛ばして、炭化しやすくする目的で使用している『減容機』の修繕。



クリーンサポートセンター

【補正予算とは】年度途中で必要または不要になった収入や支出を予算に反映すること。議会の議決が必要。

「みんなのお金」の使い道

新庁舎の職員用机等購入費の精査を求める修正案提出 賛成5反対10で修正案は否決 町が提出した原案が可決

【修正案】 新庁舎の職員用机（木製／1台8万円～10万円）180台と書庫を町外業者から購入する予算2,689万円は、内容を精査して9月定例会に再提案することを求める
＝一般会計補正予算の修正＝ （発議者：真辺真紀議員 賛成者：岩山鶴美議員・渡辺千護議員）

提案理由

真辺真紀議員

①机が一般職員用としては大きく高額過ぎる。継続使用できる机の数を把握した上で必要な台数を発注するべき。総事業費が24億円まで増えた現状で町民の理解は得られない。

②1社の見積もりを基に予算を計上している。複数業者の見積もりを参考にすべき。

③地元業者への打診が一切ない。新庁舎は地元材を活用し、屋久島の職人の力を合わせて建設することではなかったのか。

討論

▼原案賛成（修正案に反対）

榎議員…使いやすい木質の温もりのあるものに換え、新庁舎に合った備品を購入していくべき。見直しや減額をして執行すればよい。

石田尾議員…1社の見積りも一つの目安としての予算だから（今後）入札する中で下がっていくし、地元材を使うのであれば検討の余地もある。

▼修正案に賛成（原案反対）

小脇議員…新しい机10万円を全職員に与えることで作業効率があがるのか。使用中の机が使えなくなったという検証をしていない。建設のコンセプトは林業振興だ。屋久島の地材で机を作るのなら一つの提案だが、何でパイン材なのか。詳しく審議すべきだ。

岩山議員…地元材を活用して地元産業を活性化するという趣旨に外れていないか。180台の机を一度に作るメリットは何か。渡辺議員…（他の業者の見積もりも取って）精査した上で予算に上げていただきたい。

採決

《原案賛成・修正案反対》10名

相良健一郎、上村富士高、大角利成、石田尾茂樹、榎光徳、真辺有次、高橋義友、日高好作、寺田猛、岩川修司

《原案反対・修正案賛成》5名

真辺真紀、岩山鶴美、渡辺千護、小脇清保、下野次雄

…付記 H30年8月末現在 修正案の備品購入は再検討の方向…

質疑

「常任委員会の在り方を問う」

当原案（町の提案）は、本会議の前に事前審査をする「総務文教常任委員会」では可決されています。

本会議で修正案を出した、真辺真紀議員、岩山議員、渡辺議員の3名は委員会では「原案に賛成」を表明していたため、賛成をしていた者が修正案を出す行為に対して質疑がありました。

岩川修司議員…（修正案の内容は）委員会でも聞くべきことだ。真辺真紀議員…本会議までに意見を変えることは何ら問題はない。委員会の在り方が問われるのを承知の上で、この修正案を出した。

岩川修司議員…委員会でも可決を決定したと委員長が報告した後（修正案提出は）どうなのか。真辺真紀議員…委員会では審議に入る直前に資料の配付があった。調べる時間を下さいと申し

出るのが筋だった。その点は反省している。私の不備で可決の判断をしたが、本会議までの時間の中で、調べ尽くせることを調べたら、この予算がそのまま通ってしまうと、町民の理解は得られないと考え、修正案を出した。

石田尾議員…議案書は早くもらった。幾らでも資料はとれる。それが議員の活動だ。

真辺真紀議員…今後はこのような経緯で修正案を出すことがないように心がけたい。

日高議員…修正案出すことを否定するものではない。委員会でも採決されたものが修正案で出てくる点は疑問だ。

真辺真紀議員…認識している。だが、形式にこだわらず、委員会の在り方が問われるからと、（修正案を出さず）本会議に臨む姿勢こそまずいと思ひ決断したものだ。

日高議員…委員会の採決（の重さ）は本会議と何ら変わらない。採決に議員生命をかけるぐらいの気持ちでやらないと、町民の代表は務まらない。

常任委員会

【常任委員会とは】

町の仕事は様々な分野にわたっているため、2つの常任委員会

が分担して本会議の前に事前審査をしています。最終的な意

思決定は本会議で行われます。請願と陳情の審査もしています。

総務文教常任委員会

所属議員	
寺田 猛	高橋義友
相良健一郎	渡辺千護
岩川俊広	岩山鶴美
榎 光徳	真辺真紀

付託された4件の議案は、すべて原案通り可決されました。質疑を抜粋し掲載します。

付託議案

- ▼財産の取得
- ▼町営住宅管理条例の一部改正
- ▼町営単独住宅管理条例の一部改正
- ▼一般会計補正予算(第1号)【分劃】

質疑

水槽付き消防ポンプ車の購入4千492万8千円

総務課長・消防署南分遣所にある水槽付き消防ポンプ自動車(平成12年購入)の買い替え。6社指名競争入札。水槽を搭載しており消火栓、防火水槽等の水利が無くても直ちに消

火活動ができる。

真辺真紀委員：今使っているポンプ車はどうするのか。

総務課長：消防団の安房班に配置する。

高橋義友委員：古くて不具合があるから更新するというが、車検を受けて安房班で使えるのなら、南分遣所でもそのまま使えるのではないか？

総務課長：(消防団の)各班の車両も修理しながら乗り、古い順に更新してきている。期限なので更新する。

新庁舎の電話施設費2千万円

真辺真紀委員：財産管理費2千万円の内訳は？

財産管理課長：電話交換機1台4百50万円、IP電話は150台で1千万円、それに電話線等の工事費等を合わせたもの。見積もりは2社から。

新庁舎の職員用機製作1千717万2千円

岩山鶴美委員：もう少し詳しい資料がほしい。

庁舎建設推進室長：(机の)写真はサンプルとして提供されている。木製のものを模索している。入札は行う予定。

岩山委員：引出しは？

庁舎建設推進室長：引出しをつけるが高額になるため、机は組み立ててビスで止める簡単なものにし、収納部分を可動式のキャビネットにする。

真辺真紀委員：180台で割ると1台あたり10万円になる。

庁舎建設推進室長：製作するので決まった金額がない。業者への聞き取りで10万円程度。入札してみないと分からない。

真辺真紀委員：何社に見積もりを依頼したか。

庁舎建設推進室長：営業にきた文房具メーカー5社に図面

は渡した。入札については、指名委員会で業者を決める。

真辺真紀委員：今の支所等にある相当な台数の机の行方は。

庁舎建設推進室長：新しいものは再利用し、不要なものは集落や必要などころに譲りたい。

議会の映像配信システム5千53万2千円

岩川俊広委員：議場の機能はどう変わるのか。

寺田猛委員：公有財産取得に関する資料を。産取得に関する資料を。第三者に渡り開発行為が行われた場合、景観を損なう恐れがある他、山地の崩壊に繋がる恐れがあり、区からも川の氾濫等、防災の観点から、町に要望があった。取得委員会でも妥当であろうと予算計上した。

防災等の観点から永田の山林購入200万円

寺田猛委員：公有財産取得に関する資料を。産取得に関する資料を。第三者に渡り開発行為が行われた場合、景観を損なう恐れがある他、山地の崩壊に繋がる恐れがあり、区からも川の氾濫等、防災の観点から、町に要望があった。取得委員会でも妥当であろうと予算計上した。

自前のサーバーに置いて配信する方法を考えている。

真辺真紀委員…内部で完結するような仕組みを目標に。外部委託をする場合は、委託する費用と島内の人を雇用した場合を比べて検証してほしい。

老朽化した支所の利活用

真辺真紀委員…宮之浦支所の耐震調査をせず安全性が不明な状態で利活用を考えるのか。

財産管理課長…支所の耐用年数は50年。宮之浦は54年経過、尾之間は42年経過、安房は43年経過。宮之浦は諸問題がある

り、安全確認してからの貸与が必要。検討委員会の結論を慎重に出す。

真辺真紀委員…(支所の利活用アンケートを)町民へ投げかけたのは、使うのが前提ではなく、方向性を決めるためのものだったのか。

庁舎建設推進室長…はい。検討委員会で修繕費用等も考慮しながら(利活用を)検討する。

岩山委員…今の説明はおかしい。町報で活用方法を示してほしいと載せたのは、(施設が)使える前提で意見を聞いているのだ、と、町民は思う。

真辺真紀委員…安全確認を先にするべきだ。

渡辺委員…耐震調査にもお金がかかるので、宮之浦を除いて考えていく必要がある。
寺田委員長…町長等と協議してほしい。

安房総合センターホールの照明の改修は？

真辺真紀委員…安房の総合センターのホールの照明の改修はどうなっているか。

社会教育課長…3月議会で指摘を受け、吊りものの目視確認はした。問題はない。緞帳

厳選してほしい。

企画調整課長…昨年度は参加費が少額で誰でも参加できたが、今年度は参加費を倍にしてハードルを上げ、本人の意識を明確にしてみよう。公費もつきこむので、成果が伴うような仕組みを作る。

の不具合も合わせ、調査、改修費用は、足場を組む必要もあり、どこに調査依頼をするのかを建設課と協議中。9月議会での予算計上を相談中。

小中高生のスクールバス 又利用条件等の南部と 北部の格差解消を

真辺真紀委員…(スクールバスを子供たちが利用できる条件が北部(旧上屋久)と南部(旧屋久)で異なっており、伴ってバス会社への助成金も倍近い差がある件について)委員会を設置し、保護者にアンケートを取ってバス利用の実態を把握し、北部と南部の条件を合わせていただきたい。

教育総務課長…アンケートを取り、保護者に説明する。
真辺真紀委員…(バス会社との)契約は何年間か。
教育総務課長…3年間だが、1年間という選択肢もある。
真辺真紀委員…1年の契約にし、まず問題の把握を。

産業厚生常任委員会

所属議員

石田尾茂樹 小脇清保
上村富士高 岩川修司
下野次雄 真辺有次
日高好作 大角利成

付託された6件の議案は、すべて原案通り可決されました。質疑を抜粋し掲載します。

付託議案

- ▼乳幼児医療費助成条例の一部改正
- ▼放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ▼一般会計補正予算(第1号)【分割】
- ▼国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ▼介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ▼農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

質疑

ごみ処理施設の修繕 2千376万円

環境政策課長…受注生産となる「減容機」の予算を計上。2千万円は通常の経費。補修

婚活ツアー 142万円 成果がある仕組みを

渡辺千護委員…昨年度の婚活ツアーの参加人数と成果は。
企画調整課長…男女16名ずつ。男性は島内のみ、女性は島内外から。12組のカップル成立、その後はあまり思わしくない。
渡辺委員…地元の女性が

参加を申し出たが断られたという話を聞いた。
企画調整課長…応募が大変多かったため島内の方をお断りしたかもしれない。定住を目標にする。
渡辺委員…応募した気持ちを検証し、本当に屋久島に住みたいという方を

厳選してほしい。
企画調整課長…昨年度は参加費が少額で誰でも参加できたが、今年度は参加費を倍にしてハードルを上げ、本人の意識を明確にしてみよう。公費もつきこむので、成果が伴うような仕組みを作る。

常任委員会

は、どこが突発的に発生するかわからないので、優先順位を考えてする。

大角利成委員…減容機修繕は予期していなかったのか。

環境政策課長…不調が出ていたが補修を行い動かしていた。まだ動くが、(代替機は)受注生産により時間を要するので補正で上げた。

下野次雄委員…減容機の修繕は部品交換ということだが、何年くらいもつものか。

環境政策課長…4～5年で不具合を起こしたと聞いた。減容機すべてを換えるわけではないので、部分部分改修を行う必要があると思う。(修繕箇所が出るのは)燃えるゴミに金属がまぎれこむことによる。

下野委員…町民の意識改革を行えば、修繕が減る。担当課として徹底しないと、施設が変わっても同じことである。

環境政策課長…徹底をしたい。

原の集落排水設備修繕 365万円

下野委員…ポンプの修繕がこれから続くという認識か。

農林水産課長…集落排水事業に関しては、ランニングコスト、修繕費がかかるという指摘を受けている。現状のままと個別に浄化槽を設置した場合を試算したところ、個別に浄化槽を設置した場合の方が区民の負担が増えるという数字も出ており、集落の方々と協議をして詰めていく。

下野委員…老朽化等で本管が破損する等いざという時に対応が遅れないようにしてほしい。

小協委員…集落排水事業の各家庭からの拠出金はあるのか。

農林水産課長…水道料と同額の金額を使用料としてもらっている。

高齢者福祉バス助成金 470万円(当初予算と合わせて500万円)

議会審議の前に広報はおかしい／町一謝罪する 使いやすい方法の検討を

小協清保委員…助成金の補正額470万円はどこにいくのか。

福祉事務所長…当初予算で30万円組み、計500万円になる。1人1万円ですバス会社と覚書を交わすための財源。

小協委員…バス会社が2社あるがどう分配するのか。

福祉事務所長…全島を回っている種子屋久交通との覚書となる。

小協委員…積算の根拠は？

福祉事務所長…栗生、永田が(利用の)主になると考えた。

小協委員…恒久的に続く制度であると考えますが、500万円を使うのは疑問。

福祉事務所長…支払額は利用者証の発行数となる。

小協委員…議会での審議の前に各老人クラブや無線等で広報を行っているのはな

ぜか。

福祉事務所長…老人クラブから要請があった時、1年内をめどに実施することを説明していた。運賃改定にはバス会社が国道交通省へ手続きを要したため7月にずれ込んだ。1日でも早く行う必要があると思い、議会への説明を行う前になつてしまったことについては謝罪したい。

小協委員…どれくらい使われたかを計上してほしい。

福祉事務所長…使用者数の調査が可能かどうか(バス会社に)依頼したい。

下野委員…バス料金改定による増額を想定しているか。

福祉事務所長…可能性はある。必要があれば協議を行う。

下野委員…利便性を考えるのであれば、使いやすい方法を検討すべき。

福祉事務所長…事業を進める中で問題が出てきた時に検討する。

上村富士高委員…歳出予算額が500万円なら、本人負担額4千円の内容は何か。

福祉事務所長…本人負担額を含め1万円をバス会社に支払う。金額設定は町長協議による。1万円はバス会社からの提案。

岩川修司委員…(議会で審議する前に事を進めて)予算を否決された時はどうするつもりだったのか。反省を求め。

大角委員…(審議の前に広報をして)先走った形になり進め方がまずいのではないか。

公開します
議員の賛否

平成30年6月定例会 審議した議案とその結果

上程された議案・概要・結果 ○は賛成 ●は反対	結果	真	相	岩	上	大	渡	石	榎	真	高	岩	小	日	下	寺	岩	
		辺	良	山	村	角	辺	田	榎	辺	橋	川	脇	高	野	田	川	
		真	健	鶴	富	利	千	尾	光	有	義	修	清	好	次	猛	俊	
		紀	一	美	士	成	護	茂	徳	次	友	司	保	作	雄	広		
財産の取得（議案第 43 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
乳幼児等医療費助成条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
町営住宅管理条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
町営単独住宅管理条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
平成 30 年度一般会計補正予算（第 1 号）	可決	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	※
平成 30 年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 30 年度介護保険事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 30 年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 30 年度船舶事業特別会計補正予算（第 1 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
財産の取得（議案第 53 号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 29 年度陳情第 14 号 屋久島町契約規則の遵守の陳情書	不採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 29 年度陳情第 16 号 合併前の両町に制定されていた『放射性物質等の持込み（拒否）及び原子力関連施設の立地拒否に関する条例』の廃止された経緯の解明と新たに制定することを求める陳情書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 30 年度陳情第 1 号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元、複式学級解消をはかるための、2019 年度政府予算に係る意見書採択の要請	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
平成 30 年度陳情第 3 号 日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
発委第 2 号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度 2 分の 1 復元、複式学級解消をはかるための、2019 年度政府予算に係る意見書採択の要請	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
発委第 3 号 核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書（案）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※

【※】議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。

町民の声を 町政に

9人が質問しました

《一般質問》

一般質問とは、議員が町長などに、町民のための町政運営を進めているかを問い、チェックするものです。この記事の内容は質問した議員本人の責任において、質問および回答をまとめたものです。通告順に掲載しています。会議録は、議会事務局、町図書室、各集落公民館で閲覧することができますので、ご覧ください。

●このような質問をしました●

新庁舎	新庁舎の機構改革構想は
	新庁舎の総事業費は
	総事業費とは何を指すのか
	各支所をどのように利用するのか
観光	奄美と観光面での連携は
	観光振興について
	国体会場にふさわしい周辺整備を
	観光活性化について
	里の観光と集落の均衡ある発展に花木等の植栽を
福祉	新オレンジプランの進捗は
暮らし	町民所得向上対策は
	新ごみ処理場の建設は
	防災対策について
	猫被害対策について
	口永良部島の道路災害復旧計画について
	口永良部島の復興支援策は
	教職員住宅及び職員室の環境改善
	志戸子集落の町道改良を急ぐべきでは
産業	農業経営相談員の活用は
	カンショの育苗ハウス設置に補助を
	一次産業の振興について
	I P M農法の推進について
その他	町でドローンの導入は
	宮之浦の屋根付きスポーツ施設について
	山岳遭難防止協議会の機能は
	ふるさと納税の効果的な活用を 接遇指導の再考について

議会動向

平成30年6月～8月

6月	
1日	第2回議会運営委員会（尾之間支所）
4日	熊毛地域農政企画推進会議総会（西之表市）
5日	屋久島町エコツーリズム推進協議会総会
8日	第2回定例会開会（～20日まで）
9日	金岳小学校校舎危険改築工事起工式
15日	第3回議会運営委員会（宮之浦支所）
19日	県体熊毛地区大会屋久島町結団式
20日	第5回議会全員協議会（宮之浦支所）
	屋久島町森林・林業・林産業活性化促進議員連盟総会
23日	奄美交流事業（～25日まで）
26日	屋久島観光協会定時総会
29日	屋久島町老人スポーツ大会（尾之間）
7月	
1日	第7回屋久島町芸能祭
	第59回県体熊毛地区大会
3日	第1回熊毛地区消防組合議会臨時会
7日	屋久島オープンウォータースイミング
	一湊海水浴場開き
8日	第59回県体熊毛地区大会
12日	議会常任委員長研修会（鹿児島市）
14日	栗生海水浴場・春田海水浴場開き
15日	県消防協会熊毛支部操法大会（西之表市）
25日	公立高等学校生徒募集定員策定等に係る地区説明会
31日	第1回世界自然遺産・国立公園における山岳部利用のあり方検討会
8月	
1日	郡町議会議長会臨時総会（鹿児島市）
	第8回種子島屋久島議会議員大会臨時会（鹿児島市）
2日	市町村政研修会（鹿児島市）
4日	第37回屋久島ご神山祭り（～5日）
22日	人権教育研修会（離島開発総合センター）
24日	県消防協会操法大会（鹿児島市）
27日	全国自然敬愛サミット2018
28日	議会広報研修会（鹿児島市）
30日	第6回議会運営委員会（尾之間支所）
	第6回全員協議会（尾之間支所）

新庁舎の機構改革構想は

町長―22課を14課に集約

問 新庁舎で業務を行う際の機構改革の構想は。

町長 住民サービスの向上を考慮し、現在の22課を14課へ、72係を42係へ集約する。また、窓口業務を統括する地域住民課の新設、ゴミ処理施設等、公共施設のあり方を検討する部署の増設を検討中。現体制からスムーズに移行できるように、組織体制づくりを目指す。

庁舎完成前に見学会の実施は

町長―検討する

問 新庁舎完成前に町民・工務店・大工などに工法や施工状況、また、ストックヤード等の見学会実施の考えは。

町長 実施できるような検討する。また、床、壁、天井等の加工を行っている加工現場を工務店、大工の方々に見学していただきたい。

庁舎内にATM設置を

町長―交渉したが難しい

問 来訪者や職員の利便を図るためATMを設置できないか。

町長 本町指定金融機関の種子屋久農協にお願いしたが費用の面で難しい。また、九州労働金庫にお願いしているが進展しない。引き続き金融機関に要望してまいりたい。

職員駐車場の利活用は

町長―イベント等は要望があれば検討したい

問 職員駐車場を多目的広場として利活用できないか。

町長 休日でも可能なイベントの要望があれば利用できるよう検討したい。また、庁舎敷地内に中庭もあるので活用するイベントがあれば検討したい。

奄美と観光面での連携は

町長―直ちに見直す」とは考えていない

問 奄美地域の世界自然遺産登録延期により、観光面での連携をどうするつもりか。

町長 登録に向けた取り組みは継続されるので、観光連携の方針を直ちに見直すことにはならない。

町でドローンの導入は

町長―十分な検討が必要

問 ドローンは空撮やあらゆる災害状況の確認、農薬散布など各分野での活躍の場が拡大している。本町においても早期の導入はできないか。

町長 活用目的を明確にし、自治体で保有して運用すべきかを十分検討する必要がある。

志戸子集落の町道改良を急ぐべきでは

町長―早い時期にと思う

問 志戸子集落内の町道は凸凹が激しく、いたるところに水たまりができるなど、人車の通行に支障をきたしている。早期の改良はできないか。

町長 状況は把握している。早期にできればと思っている。

一般質問



まなべゆうじ 議員 真辺有次

一般質問



石田尾茂樹 議員

口永良部島の道路災害復旧計画は

町長―島の南東部から復旧工事を進めていく

問 噴火警戒レベル3（入山規制）から噴火警戒レベル2（火口周辺規制）に引き下げに伴う町道本村向江浜線、林道口永良部線の災害復旧計画は。

町長 向江浜地区の被災箇所は災害調査のたまりが可能になり次第、直ちに調査を行い復旧を進めたい。

宮之浦の屋根付きスポーツ施設について

町長―平成31年度に建設

問 建設予定の屋根付きスポーツ施設の実施計画を

町長 広く町民が利用できる健康増進運動施設として建設したい。ゲートボー

ル場が二面ぐらいのものを作りたいと今考えている。

防災対策について

町長―地域住民と協議の上検討したい

問 津波対策として、宮之浦平和町地区に県道に接続する避難道を新設し、住民の安全を確保するべきではないか。

町長 平和町は海拔が3から5メートルしかなく、津波に対しては直ちに避難が必要な場所である。県道ののり面を上げることができれば、避難経路が短くなり、

避難の時間が短縮されると思われる。町の防災計画では、津波に関しては、住民が徒歩で確実に安全な場に避難ができるよう、避難路等を整備すると努めるとしているので、検討したい。

観光振興について

問 航空路、大阪、福岡便をどのように認識しているか。

町長 Q400型機から、昨年4月に最新鋭ATR42機―600機の導入に伴い、今年の5月7日から大阪伊丹便が48人乗りATR機に機種が変更され、7月からは福岡便もATR機へ変更予定であり、座席数の減少は入込客数の減と同時に、観光関連事業に大きな影響を及ぼすと認識している。

JACがATRの70人乗りの1機を就航予定であるので、

大阪伊丹、屋久島間に就航をJACと協議していく。

問 益救参道（竜神杉歩道）の利活用を図るべきではないか。

町長 竜神杉歩道は宮之浦川流域の林道遺産に登録された学術的な価値と相互連携し、石積歩道、竜神杉、雷神杉、風神杉の展望を生かし林道との関わりを体験できるルートとして活用したい。竜神杉周辺は縄文杉と違った現生の森が存在しており、プレミアム感があるルートとして整備に取り組みたい。

問 神の川林道の照葉樹林、渓谷、清流は観光の素材では。

町長 このルートをどのようにして屋久島の観光につなげていくかを再度検討したい。



噴煙を上げる口永良部島新岳

新庁舎の総事業費は

町長―全体事業費として約24億円

問 町民は庁舎建設費用を、当初町が説明したように20億円ですべて完了するものと思っっている。

本体工事費は20億円以内で抑えているから問題ないというのは詭弁である。町民には町報で総事業費を明細別に正直に告知していただきたい。

町長 今議会で予算が確定し次第全て公表したい。

山岳遭難防止協議会の機能は。その構成は万全か

町長―早急に方向性を定める

問 本年度の協議会の予算は5万円であるが、旧町時代は両町で100万円の予算があった。多発する山岳遭難に迅速に対応すべく、元の状態にするのが急務と思うがいかがか。

町長 関係機関と連携を密にし、山岳遭難の未然

防止、捜索時の円滑かつ適切な対応に努めたい。

問 安全確保のため、有人山小屋の必要性をどのように考えているか。

町長 非常にハードルが高いと考えている。

問 屋久島の観光資源は山岳であり、これだけ利用されているにもかかわらず、有人山小屋がないのは珍しい。縄文杉の日帰りコースはエコツーリズムの範疇には入って

いない。そのため事故も起きている。無理をしない行程のため、有人山小屋の設置は必要と考えられる。

町長 世界遺産地域において、利用混雑を引き起こすような新たな施設整備は慎重に考える。自然遺産地域の適正な管理という面から非常にハードルが高いと考えている。

問 小杉谷の跡地に有人山小屋を作り合わせて、森林博物館や水力発電の歴史館を作るのも解決の方法と考える。

町長 全く同感である。ビジターセンターを作り環境学習もやり、そこにパトロールを置き事故の時、速やかな対応ができるような施設を作る思いは持っている。

教職員住宅及び職員室の環境改善について

教育長―計画的に整備更新に努める

問 教職員住宅が満室にならない理由は水洗でないことも一つである。職員室、校長室はクーラーの設置が必要と考えるが現状はいかがか。

教育長 本町に赴任される職員の方々に安心して赴任してもらうよう今後計画的に整備更新に努める。クーラーについては29年度ですべての学校の職員室の設置が完了しているが、校長室については南部地域の学校で設置がなかったことから、今年度設置するよう事務作業を進めている。

問 この夏に使われない温度管理ではいけないので早急な設置を要請する。



こわききよやす 小脇清保 議員



まなべまき 議員 真辺真紀

総事業費とは何を指すのか

副町長—今後はすべて含めた総額で示す

問 新庁舎に係る予算総額は、24億円になるということがわかった。他の自治体の新庁舎建設に係る総事業費を参考にすると、庁舎建設に

関連する全ての予算を表している。屋久島町があらわす総事業費とは何を指すのか。

町長 総事業費については、関連事業も含め、全体事業費として説明をしている。

問 各校区での住民説明会で、町民から、新庁舎建

設の事業費は最初7億円と聞いたのが12億円になって、今は20億円になっている、これは20億円が増えないのか心配、という声が上がった。

これに対して町の担当者は、町長が議会の中で総事業費は20億円を超えないという発言をしている、という事で理解を求めている。

庁舎建設推進室長 その時点で決定していたのは20億円で、庁舎建設敷地に係る分の事業費ということに答えた。

問

住民説明会では、他にも総事業費という言葉が使われ、聞いていた方は、全部の予算が20億円以下という解釈をされていたと思う。それ以外に費用がかかるという説明はなかった。

副町長

総事業費と建設事業費の問題で、色々物議を醸しており、私どもの説明が十分ではなかったと、その点について反省をしている。きちっと町報なり、あるいはインターネット等で住民にお知らせをしていかなかったという指摘は、甘んじて受けた。説明が十分ではなかった。

問

解釈の違いで受け取り方が変わる、議会でも承認の仕方が変わってしまうという危険性があるので、総事業費についての概念を統一することを求めたい。

副町長

総事業費というのは、庁舎建設事業費と附帯工事を含めて総事業費という概念である。総事業費という言葉を使うときは、全て入れた総額で今後は説明をしていきたい。

各支所をどのよう に利用するのか

町長—検討委員会で検討後、私が最終判断する

問 宮之浦支所は後何年くらい使用できるのか。

建設課長

耐震診断が必要な建物には指定されていないので、あと何年もつかという診断は行っていない。

問

窓口機能をどの程度残すのか。

町長

3支所、3出張所にして、当初から存続させることを明言してきた。しかし、新庁舎建設の意義を最大限発揮するために、ほとんどの職員を本庁舎に集約をしなければならぬ。そのため、組織機構の見直しを行い、支所、出張所を統括する地域住民課を新設をし、各支所からの連携強化を目指す。支所の人員配置については、総合窓口として、3から5名の職員を配置することを検討している。

問

利用率は余り変わりない。人口の変動も余りない。3名から5名とは、下手すれば倍違う。支所の機能として、住民サービスを中心にし、そこに支障がないように利活用の案を練り上げていくことを要望する。

町民所得向上対策は

町長―有人国境離島法事業を確認したい

問 先に発表された平成27年度県民1人当たり市町民所得結果をどう受け止めているか。

町長 熊毛地域内では、本町が一番低い数値となっている。この数値だけではないと考えているが、この数値を好ましい形で向上させていくことが重要と考える。

町長 このところ徐々に観光客も戻りつつあり横ばいで推移しており、今後は観光客の増加に結びつけるよう現在取り組んでいる。有人国境離島法の各種事業を有効に活用しながら、各産業の連携を密にし相乗効果を発揮したい。

町長 第一次産業については畜産の伸びは見られるものの、気象災害等により各作物の生産が減収となっている。今後は災害に強く好調に推移してい

問 今後、町民所得向上対策にどう取り組む考えか。

町長 平成29年度に農業職技術員を1名採用、

る畜産業の充実や、屋久島の気候に適した農作物の作付と屋久島材の島外搬出を増加させるべく推進する。

農業経営相談員の活用は

町長―近い将来採用できると検討したい

問 農業所得向上対策の一環として農家訪問による経営指導ならびに生産技術指導を行う、農業経営相談員を任命し活用するべきでは。

町長 平成29年度に農業職技術員を1名採用、

平成30年度には現場指導強化を図るべく参事職を新設し、より一層の充実を図る考えである。

町長 農業経営相談員の活用は必要との思いから、平成28年度に適任者と思われる方に打診したが、任命に至らなかった経緯がある。適任と思われる対象者がいれば、近い将来採用できるよう検討したい。

カンショの育苗ハウス設置に補助を

町長―内部で検討したい

問 純屋久島産の焼酎生産が望ましいが、現状ではカンショの生産量が少なく島外産に頼っている現状である。焼酎原料カンショの作付けを広く町民に奨励するべきと考えるが、作付け農家に対して育苗パイプハウスの設置補助はできないか。

町長 作付け適期の4～5月に苗が不足することから、農業支援センターが果樹試験園のハウスを利用して育苗し、農家へ供給している。今のところ、国・県の補助事業では該当する事業がない。認定農業者は町単独の支援事業があるので活用して欲しい。

町長 認定農業者以外の農家支援としての町単独事業については検討したい。カンショの作付け拡大については、製造業2社からの要請もあるので対処したい。

町長 認定農業者以外の農家支援としての町単独事業については検討したい。

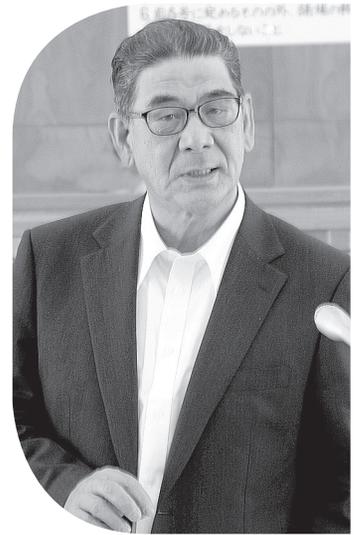
町長 認定農業者以外の農家支援としての町単独事業については検討したい。



おおすみとしなり 大角利成 議員



甘藷(カンショ)畑



寺田 猛 議員

取り組む。

新ごみ処理場の建設は

町長―2023年度中の稼働目指す

問 現行のクリーンサポートセンターは、建設当初から不具合が生じ、掲げた理想的な成果をほとんど得ることなく、今日に至っているというのが、多くの町民の共通の認識であると思う。

遠からず建て替えが必要と思うが、新たなごみ処理施設建設のプランやタイムスケジュールについての見解を伺う。

町長

クリーンサポートセンターは供用開始か

ら、12年が経過し起債の償還は平成32年度末で終了です。炭化・電気溶融施設は、国内での導入事例が少なく、部品等のコスト削減や安定稼働が

出来ず、維持管理費の負担が大きく、処理で生じた資源化物の長期的な利用先が確保できないなどの多くの問題が生じています。

今後、廃棄物減量等推進審議会での審議を踏まえて、財政状況を勘案しながら、最短期間で2023年度中の新ごみ処理施設の供用開始を目指して

国体会場にふさわしい周辺整備を

町長―関係機関と協議し整備する

問

2020年開催の「かごしま国体」でのオープン・ウォーター・スイミングの競技会場として、また、屋久島におけるマリンスポーツの拠点施設として、一湊海水浴場の施設改修や周辺整備等の必要性を感じるが、ハード面での整備に関する見解を伺う。

町長

昨年7月の正式決定を踏まえ、本町では

県国競技式典課や県水連と調整を続け、運営や各種業務計画の原案を作成し、本年4月に町の関係者から成る実行委員会を立ち上げた。

施設整備については、国体運営に要する経費のうち、既存施設改修は、交付金対象外となるので、増設や新設は困難であるが、今後の利活用やおもてなしの観点からも、関係機関と協議の上、必要に応じて施設改修を実施し、国体会場にふさわしい環境整備や景観形成を図り、国体開催に臨みたい。

噴火から3年

口永良部島の復興支援策は

町長―ユネスコエコパークを活用した管理運営計画を策定する

問 噴火から3年が経過し、噴火警戒レベルも下が

り、金岳小学校の建替えなど、

本格的な復興事業が進展しているが、今後の復興支援事業の展望として、ユネスコエコパークの基本理念に沿った島づくりの一環として「教育の島」「学生の島」としての、教育に特化した島づくりについての見解を伺う。

町長

本町では、本年2月大会を開催し、大会宣言で「口永良部島の復興をより強力に推し進めるために、管理運営計画を策定し、ユネスコエコパークを活用したまちづくりを目指します」と全国に発表した。

口永良部島には、広島大学や慶応大学、鹿児島大学等、多くの学生が集い域学協働を実践しており、「教育の島・学生の島」の素地はできている。エコパーク管理運営計画では、これらと連動した口永良部島の地域振興につながるものを策定し、復興事業に役立てたい。

ふるさと納税の効果的な活用を

町長―新たな可能性を模索したい

問 ふるさと納税、いわゆる屋久島だいき基金を利用させていただき、独自財源を持つべきではないか。屋久島は水の島であり、世界に通ずる宝であると思う。町が主体となって水を売り出す事業を興し、防災や災害支援にも役立てることを検討できないか。

興し、あるいはふるさと納税の返礼品として位置づけてはどうかという提案ではあるが、本町では、事業を行っている事業者がいる。圧迫にもつながらかねない。が、当該事業者とも連携をして新たな可能性を模索したいと思う。

新オレンジプランの進捗は

町長―活動を強化する

町長 昨年度約2億円近い基金をいただいている。町が水を生かした事業を

問

福祉医療のまちづくりとして、4月から新オレンジプランがスタートしたが進捗状況は。

町長

認知症地域推進員を南部、北部に配置し、認知症本人、家族を含め医療と介護の連携や生活支援などのサービスが途切れないように各機関活動を強化していく。

問

認知症に関連し、4月に小瀬田の「みんなの診療所」開業された肥後ドクターについて、島出身の脳神経外科医が故郷の屋久島に貢献できればというお気持ちから島

町長

よくぞ帰ってきてくれたと非常に心強く思う。離島であることで、助かる命も助からない脳疾患の方がたくさんいる中、これからの離島医療として未然に防げる命のために、脳ドック等が屋久島でできるようにし、その補助をする考えはないか。

問

離島であることで、助かる命も助からない脳疾患の方がたくさんいる中、これからの離島医療として未然に防げる命のために、脳ドック等が屋久島でできるようにし、その補助をする考えはないか。

町長

国民健康保険人間ドック利用補助金交付要項により、脳ドック受診者へは、上限2万円を補助しているが、そういう人材が帰ってきたので、これから色々な場面で協議していきたい。補助についても財源が伴うものなので内部で検討したい。

問

全国の離島においても、脳疾患の発症時は同様の

問題を抱えているはず。現在町長は全国離島振興協議会の会長を務めているので、無料で健診を義務づけて3年間のデータを積み上げ厚生労働省に提案すれば、本当に困っている離島に対しても、会長の職責を担うものとして意識があるのではないか。

やはり人の命を救うという意味では屋久島町がこういうことに取り組むべきではないか。

町長

医療費に限らず離島は色々なものが遅れている。それを少しでも本土並みにというのが、142市町村長の一つの思いだから皆さんと一緒に頑張ってほしい。

接遇指導の再考について

町長

公務員としての自覚を持つ上で重要なことであるので指導の徹底を図っていく。

一般質問



いわやま 鶴美 議員

猫被害対策について

町長―地域とも一体となり取り組んでいく



かみむらふじたか
上村富士高 議員

問 猫被害対策は大変難しい問題だと認識している

が、屋久島島民から猫被害を多く聞く。行政も何らかの対応をとるべきではないか。

町長 法的権限の拘束力がないことから、野良

猫への餌を与えることの制限など取り扱いについて指導を行政放送などで行い、町、保健所、地域が一体となって取り組んでいきたい。

無責任にエサをあげるのはやめましょう！！

無責任なエサやり → 野良猫にエサをまく、エサを野外に放置する猫を思っの行動が、結果的に逆効果になることもあります

猫を集める → 糞尿被害など近隣住民に迷惑をかけます猫が苦手な方もいます

交尾・繁殖する → 猫の繁殖能力は高く、交尾、2ヶ月で平均3～4頭出産します(2頭の猫が80頭にまで増えた事例も)

望まれない命 → 野良で生まれた子猫はほとんどが亡くなります(死因: 交通事故, 感染症など) 運良く成長できても、その平均寿命は5年以下

望まれない命, 亡くなってしまふ命を増やさないでください!

飼い猫の適正飼養にも努めましょう♪

- ① 屋内飼育する
- ② 避妊・去勢する
- ③ 終生飼養する

鹿児島県 屋久島保健所
屋久島町安房650
Tel: 0997-46-2024

← 公共機関に掲示されている啓発ポスター

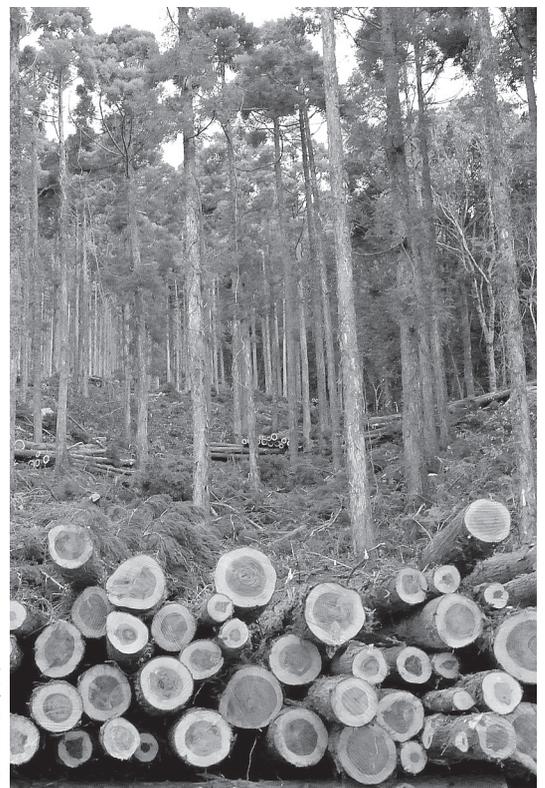
観光活性化について

問 町有林が伐採時期を迎えており、杉を伐採して植

林をする時期にきている。観光客に記念に地杉の苗を買っていただき記念として植林していただき、滞在型観光事業の一環としてはどうか。

町長 国有地なので森林管理署との協議も必要で実現可能な事業なのか総合的に判断したい。

町長 関係課が連携して、植林を通じて屋久島の自然を守ることに参加していただくために樹種、町有地に適地がないかなど検討する。



杉林の間伐

一次産業の振興について

町長―体制の充実を図る

問 農林水産課では今年度、参事を増員して充実した業務に向けてスタートしたが、

今後この体制を一次産業の振興にどのように繋げていく考えか？

な内容を盛り込んだ、新たな屋久島営農ビジョンを策定したい。

町長 今年度、現場指導強化、後継者育成、新規

問 現場重視の姿勢は感じるが、将来を見据えて生き残れる作物を絞り、重点的に支援をしていくことが重要では？

作物導入推進、新農業政策推進担当として新たに参事職を新設する。体制を充実させて経営指導に取り組んでいきたい。平成35年度までの具体的

町長 昨年、新しい技術員を採用したので、もっと現場に入れて農家と顔を合わせていくようにする。また、

多くをやるよりも絞って産地形成を図りたい。

問 水産業では、サメの被害と巻き網業の弊害を漁家の皆さんは訴えています。改善は？

町長 サメの駆除は、二次被害を防ぐためにも、

特別なチームのようなものが必要ではと考えている。巻き網漁については、これまでも言い続けてきた問題で重要と考えている。

IPM農法の推進について

町長―積極的に取り組む

問 県内では早くから取り組みで、環境へのリスク軽減やコストダウンに効果を発揮しているが、本町の現状と今後の取り組みは？

町長 これまでも環境保全型農業に取り組んできた。県も積極的に取り組んでいるので、本町においても

職員の研修への参加を積極的に行うとともに、農家への参加の呼びかけや情報提供を行っていききたい。

里の観光と集落の均衡ある発展に花木等の植栽を

町長―努力をしていく

問 合併して十年経過したが、十年後も集落の均衡ある発展には観光客だけでなく町民の流れを、特に栗生や永田地区に作る必要があると思います。その為には県道沿いや遊休地などに花木等の植栽を推進すべきと考えますが？

町長 これまでも各種団体等にお願ひして、花木の植栽を行ってきた。維持管理に難しい面もあるが、先進地である長島町に職員を派遣して、四季折々の花が植えられるように努力してまいります。

一般質問



ひだかこうさく 日高好作 議員



県道沿いの花壇の手入れをする人

先進地から学ぶ

開かれた議会を目指す工夫

議会運営委員会所属議員

真辺有次 真辺真紀 岩川修司 寺田 猛
下野次雄 榎 光徳 石田尾茂樹

宮崎県小林市 人口 44,000 人 議員定数 20 人

市民との意見交換会活発 議会広報誌に読者モニター制度

平成 29 年に新庁舎が完成。本館は鉄骨鉄筋コンクリート造りで内装に地元産材を使用。議会棟は木造建築。新庁舎建設事業は、完成 6 年前より市民の意見や提案を反映させる「市民懇話会」の定期開催、建設基本計画や業者選定の過程など事業に関する情報は逐次、市のホームページで公開して、常に市民に情報を提供してきた。

市議会開催中のインターネット生中継、録画映像の配信も市のホームページで行っている。

議会報告会は「みんなで語ろう会」と称し、市民と意見交換。又、意見交換する相手を「子育て世代の市民」などと絞った報告会も実施。議会広報誌には、読者モニター制度があり、生の声を聞いている。

視察を終えて

- ▼議会中継配信の仕組みはデータの管理を庁舎内ですべて完結する仕組みを導入しており、こうした費用が掛からない仕組みは参考になる。
- ▼議会広報誌の読者モニター制度で生の声を聞く姿勢は学びたい。
- ▼広報誌がオールカラー印刷で安価なのは、ファイルを議会事務局で作成し、印刷のみ外注しているからだそうだ。協議検討したい。
- ▼開催前の準備段階、内容、事後処理まで素晴らしい取り組みだと感じた。
- ▼地元産材を使った素晴らしい木造庁舎であった。

鹿児島県曾於市 人口 36,000 人 議員定数 20 人

開会中はインターネット生中継 タブレット導入でペーパーレス会議

議会でタブレットを導入しペーパーレス会議を行っている。県内初導入。議会開催中はインターネット生中継。過去の録画映像と共に市のホームページでいつでも見ることができる。映像検索は、議員名や会派名でも名寄せできる。

年 1 回開催の議会報告会では事前に市民から質問書を出してもらい、報告会で回答して一方的な報告会になることを防いでいる。



議会中継の仕組みの説明を聞く（曾於市で）

視察を終えて

- ▼タブレット導入は、導入する機器や仕組みでかなり使い勝手に差が出るようなので、アプリ、容量など、比較・検討の積み重ねをした後の導入を目指すべきと思った。
- ▼議会中継配信の仕組みもデータの管理をどのようにするか課題を知ることができた。
- ▼屋久島町においても議会報告会の開催場所、開催時間、班編成等を再検討し、アンケートは事前配布が望ましいと思った。
- ▼議会中継を市民 100 ～ 300 人が視聴しているとのこと。本町も議会棟にシステム導入は必須であると実感した。

11月5日(月)～11月9日(金)

あなたの声を聞かせて下さい！

平成30年度 町民との意見交換会(旧議会報告会)を開催します！

参加は自由です。どなたでも気軽にお越し下さい。

町議会は、町政の課題や議会の活動状況などを町民の皆さまに報告し、また、皆さまの声を聞き、今後の議会活動に活かすため、テーマに対する意見交換と自由な意見交換の2つの時間を設け「町民との意見交換会」を開催いたします。

開催日時及び会場等

期日	時間	会場	対象校区	担当議員の班
11月5日(月)	午後7時00分～ 午後8時30分まで	平内生活館	八幡小校区	1班
		尾之間管理センター	神山小校区	2班
11月6日(火)		宮之浦公民館	宮浦小校区	1班
		小瀬田公民館	小瀬田小校区	2班
11月7日(水)		永田公民館	永田小校区	1班
		一湊公民館	一湊小校区	2班
11月8日(木)		安房総合センター	安房小校区	1班
		栗生生活館	栗生小校区	2班
11月9日(金)		口永良部福祉館	金岳小校区	全員

※いずれの会場にも参加できます。都合の良い会場へお越しください。

議員の班別

1班	寺田 猛	下野 次雄	2班	岩川 俊広	日高 好作
	岩川 修司	高橋 義友		小脇 清保	真辺 有次
	渡辺 千護	大角 利成		石田尾 茂樹	榎 光徳
	上村 富士高	真辺 真紀		岩山 鶴美	相良 健一郎

内容

- 1 議会の活動報告(約20分)
- 2 テーマに対する意見交換(約40分)
- 3 自由意見の交換(約30分)

テーマ

- 1 皆様からお寄せいただいたご意見等
- 2 議会からのテーマ/
町報10月号に掲載します。

質問等のある方は、『質問書』をお送りください。裏面(20頁)が『質問書』です

町議会へご質問等がございましたら、このページの裏面(20ページ)が、質問書の用紙『質問書 あなたの声を聞かせてください!』になっていますので、ご記入の上、議会事務局まで提出して下さいようお願いいたします。送付方法等は、20ページの『質問書』用紙に書いてあります。

【事前に質問内容をお知らせ頂くと資料等確認して正確なお答えができますのでご協力下さい】

問い合わせ先 屋久島町議会事務局 電話 0997-43-5900 (内線372・373) ファックス 0997-47-2117

質問書 あなたの声を聞かせてください！

氏名		性別	男・女
住所	〒 891-	屋久島町	番地
年齢	～ 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代～		
ご質問・ご提言等			

★お手元の用紙に「質問書」と明記し、「氏名、性別、住所、年齢、ご質問ご提言」をお書きになった上で、お送り頂いても結構です

受付締切 平成30年10月1日(月)まで

【注意事項】

- 当日ご持参くださっても結構ですが、ご質問内容によりお答えできない場合があります。
- 住所・氏名は必ずお書き下さい。匿名や記載のないものには回答いたしかねます。
- 誹謗中傷、プライバシーの侵害、公序良俗に反する内容及び営利活動に関わるものは、受付いたしません。
- 議員個人へのご意見やご提言などは議会として回答いたしません。
- 記載していただいた氏名・住所等の個人情報については、お寄せくださったご意見に対して回答する際に必要とするものであり、これ以外の目的利用はいたしません。

【送付先】 屋久島町役場 議会事務局（尾之間支所 3階）（〒 891-4404 屋久島町尾之間 157番地）

電話 0997-43-5900 内線 372・373

※ F A X ・ メールでも受付いたします。

F A X 0997-47-2117 メール gikai@town.yakushima.kagoshima.jp

NPO法人サポート&ケア屋久島
ミニ・デイサービス『ほほ笑み』 栗生

地域の特性にふさわしい介護保険事業を

旧栗生中学校校舎を

「ゆつくりかん（湯栗間）」へ

「住み慣れた場所で生活するための介護予防と介護や福祉のサービス及び地域住民の助け合い精神を尊重した日常生活支援事業を行い、また高齢者の技能や地域力を生かした産業の活性化及びまちづくり

の推進を行うことにより、安心して暮らせる地域の創造に寄与することを目的」として、平成15年12月にNPO法人の認証を受けました。

主要事業は、介護保険法に基づく通所介護事業です。廃校となった栗生中学校校舎を町から借り受け、地域住民の力で改築・改装を行うと同時に、設立時会員および島内外からの寄付金をもとに平成16年4月から、ミニ・デイサービス「ほほ笑み」の運営をしています。

廃校から「ゆつくりかん（湯栗間）」へ



旧栗生中学校校舎の愛称を「ゆつくりかん（湯栗間）」（湯泊、栗生、中間を意味します）としていますように、法人の活動の範囲は屋久島の西部地区となっています。



ゲームも麻雀も

地域密着型および介護予防・日常生活支援総合事業所へ

本年4月からは、介護事業は屋久島町の指定のもとに行われることになりました。デイサービスは定員10名、利用時間午前9時15分から午後4時までとなっています。

利用者が住みなれた地域での生活を継続できることを目指して、遊ビリテーションや



庭先でソーメン流し

ゲーム・麻雀、貼り絵・塗り絵・絵画など、多彩な身体・精神機能改善活動をおこなっています。

毎月の誕生会は、ボランティアの参加を得て行っています。また、アジン釣り（5月）、夏祭り（7月）、ソーメン流し（8月）、運動会（10月）、餅つき（1月）などの催しも盛んです。運動会は百合保育園、「野の花」の参加もあり、にぎやかです。

「安心して暮らせる地域の創造」に向けて

西部地区は、高齢化率は高く人口減少も進んでいます。

これまでは、介護保険外の福祉サービス、グランドゴルフ大会、「あらんばら市」への参加、中学校サッカー大会の後援などを行ってきました。これからも、定款の目的に沿って活動の充実を図りたいと計画中です。

NPO法人の力だけでは地域の暮らしを変えていくには不十分です。しかし、西部地域の地域特性にふさわしい介護保険事業がなされるなら、暮らしや地域が変わります。ただし、集落の力や議会の理解なしにはこの目的の達成は困難です。

（文責：代表理事 藤村憲治）



小学生との交流会

お知らせ

当広報紙に対する意見を募集します。

皆様の生の声をお寄せください。

頂いたご意見の中からいくつか掲載させていただきます。

掲載時にはお名前も掲載させていただきます。

ご意見は、ハガキを使用して、住所、氏名、電話番号をお書きください。

個人情報情報は、議会だよりの編集以外には使用いたしません。

応募いただいたすべてのハガキの中から抽選で3名の方に2千円分の図書券を進呈いたします。

※投稿写真・クイズは終了いたします。

前号のクイズ回答のハガキに寄せられたメッセージです。

・今月の写真コーナー良かったです。

・議会だよりの議員さんの熱いものを感じます。私たち

島民のために頑張ってください。

・議会だよりの、すみずみまで読んでいます。

・屋久島町の発展をお祈り申し上げます。

・紙面から意欲的な思いが伝わってきました。「ガラス張りの広報紙」へのお手伝いが少しでもできればとの思いで意見を出します。残念ながら、まだ誤字脱字があります。

クイズ

問①平成30年度、町民との意見交換会の日程はいつからいつ?

()

②議会運営委員会が行政視察に行った自治体は曾於市と何市?

()

③南分遣所に配備される予定の水槽付消防ポンプ自動車購入費用は?

()

※クイズの正解者の中から抽選により、3名の方に図書券を進呈いたします。

◆応募方法

住所・氏名・年齢を明記

の上、ハガキで下記へご応募ください。

募ください。

◆締切日

平成30年10月31日(水)

消印有効。

◆応募先住所等

〒891-4404

屋久島町尾之間157番地

議会事務局クイズ係

電話 4315900

(内線372)

▼前号の正解は、次のとおりです。

問1 (158億6千995万7千円)

問2 (金岳小学校)

問3 (宮之浦)

◎正解者の中から、抽選により、次の方々に2千円相当の図書券をお贈りしました。

○岩山 光清様(安房)

○渡辺 千晶様(中間)

○永田 和子様(原)

是非、議会を見にきてください

・だれでも自由に傍聴できます。

・受付簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

◎議会(定例会・臨時会)は

宮之浦支所と尾之間支所で開催されています。

6月1日から11月30日までは…宮之浦支所議場

12月1日から5月31日までは…尾之間支所議場

編集後記

このごろ、住民の皆様から、議会に対するお叱りと、ご批判を受けることが多くなりました。私一人だけではないようです。議会審議のあり方が問題なのであるうと思われまふ。

我々編集委員は、この議会使用を通じ、ありのままの議会を、読みやすい紙面で詳しく報告し皆様のご批判、ご提言をいただきたいと思います。その貴重なご意見を生かし、今後皆様に信頼される議会にするよう努力いたします。

更なる皆様のご意見をお寄せください。

(下野次雄)

編集責任者

議会広報委員会

委員長 真辺真紀

副委員長 渡辺千護

委員 下野次雄

小脇清保

発行責任者

議長 岩川俊広